

教育活動全体で育てる道德教育

道德で学ぶ内容項目は、あらゆる場面で育むことができます。「登校班で一列に並んで登校すること」でも、高学年では、登校班を安全に連れて行くという自分の役割の自覚（集団生活の充実）、下学年は、上級生へのありがたいの心（感謝）を育てることができます。また、登校班の時間を守る、並んで安全に登校する（規則の尊重）など、意識して取り組むとたくさんの内容項目につながっていることが分かります。

それは、教科の学習でも同じです。教科にはその教科で付ける力があります。国語では、全ての土台となる伝え合う力の育成や伝統文化を大切（郷土を愛する心）にする心、主人公の生き方を通して自分自身を見つめる様々な内容項目を考えることにつながります。算数の学習では、問題を粘り強く考える力（努力と強い意志）や学んだことを生活に生かす（創意工夫）など育てることができます。その視点をもって計画的に取り組むことで、子どもたちの道德性を高めることができます。龍野小では、子どもたちの心を育む教育に取り組んでいます。

道德教育の紹介 第6学年「甲佐町歴史パンフレットを作ろう！」

今、6年生では、「自分のふるさと・甲佐町歴史パンフレットをつくろう」という学習をしています。この学習を通して、郷土の文化と伝統を大切にする心を育てるとともに、多くの方との出逢いの中で、将来自分の生き方など考える素地となることをねらいとして学習を展開しています。

【総合的な学習の時間「甲佐町歴史パンフレットを作ろう①」】

甲佐町歴史パンフレットをつくるために、甲佐町の甲佐神社、陣の内城跡の見学をしました。この見学を通して、甲佐神社には、甲佐神社の歴史や蒙古襲来の絵巻物があることなど、驚きの連続の子どもたちでした。また、陣ノ内城跡が国指定史跡に選ばれていること（10月に決定したこと）など、初めて知りました。甲佐町役場の上高原さんに説明していただきながら、甲佐町の歴史について改めて考えました。

【国語「鳥獣戯画を読む」】

筆者の書き方に着目し、それを生かして「甲佐町歴史パンフレットをつくろう」ということで、学習を展開しました。「鳥獣戯画」という絵巻物の素晴らしさと、甲佐町の甲佐神社、陣ノ内城跡がいかに貴重で、素晴らしいものか再確認し、相手に伝わるパンフレットを作るために筆者の書きぶりや工夫に着目しながら、学習をしました。一人一人が、自分の書き方に生かしていこうという目的意識をもって、説明文の読み取りを進めることができました。

【総合的な学習の時間：パンフレットの書き方について学ぼう】

パンフレットの下書きを進めている子どもたちは、甲佐町で町おこし協力隊として町のリーフレットを作成されている岡本さんに来ていただき、話を聞きました。岡本さんから甲佐町の町おこしの取組や様々な観光施設のことなどを話していただき、とても熱心に学んでいました。また、実際にパンフレットを作成するときの注意することなど、自分の下書きなどを見せながら教えていただきました。甲佐町のために今活動されている方のお話を聞くことで、子どもたちは、自分のパンフレットの作成意欲も高まるとともに、ふるさと甲佐のよさを再認識していきました。

【道德：国宝「青井阿蘇神社」】

熊本県で初めて国宝と指定された青井阿蘇神社を題材とした教材で、郷土の伝統や文化に興味をもち、大切にしようとする心情を育てることをねらいとしました。6年生の子どもたちは、青井阿蘇神社について調べる主人公の姿から、自分たちの甲佐町について振り返りました。「主人公の山田さんのように、甲佐町のことを調べたい」、「甲佐町には、たくさん自慢できることがある。甲佐神社は本当にすごい。」「龍野には他では体験できない色々なものがある。この自然を大切に守っていききたい。」「甲佐歴史パンフレットをしっかりまとめていきたい。」など、甲佐町のよさをほこりに思う児童の姿が見られました。

